



## 日本の伝統と最新技術

校長 佐々木 秀之

太陽の光は夏を思わせるように照り付け、アジサイの花は今にも咲きそうなほどに育っています。そして、97人の一年生もすっかり学校に慣れ、教室からは楽しそうな笑い声が聞こえてくるようになりました。

さて、去る5月22日（日）、「東京スカイツリー」は開業10周年を迎えました。10年前の建設当時の学校だよりを探してみました。

\*

…自立式鉄塔としては634mという世界一の高さです。この未知の高さの塔を安定させるために、様々な工夫がなされています。土台を安定させるためには、地下50mもの深さに木の根のように杭を張り巡らせる世界最高の最新技術が駆使されています。また、最新技術と共に、歴史上倒れたケースがないと言われる日本の歴史的建築物である五重塔の「心柱」という構造が新しい塔にも取り入れられています。

タワーの足元から頂部へのシルエットは、基本となる造形が三角形から円形へと変化しており、三角形の頂点が描く稜線は日本刀の持つ「そり」を、円形に変化する部分からは、奈良・平安時代の寺院建築の列柱がもつ中央がゆるやかに膨らんだ「むくり」といった伝統的日本建築を意識して造られています。さらに、タワーの色は日本の伝統色であり最も薄い藍染の色である「藍白（あいじろ）」をベースにして塗られ、夜間照明は、その昔、高貴な色とされていた紫色を用い「雅」を表現しているそうです。

「東京スカイツリー」は世界最高の最新技術と、長い歴史の中で積み上げられた日本人の知恵と美しさを取り入れ、次の時代へ残る建築物となるよう、多くの人たちが協力し、日本の技術や伝統のよさを世界へ発信しようとしています。…

\*

現代の技術や社会は、先人が努力して発見したことや古くから大切にされてきたことの上に成り立っているものであるといえます。それぞれの国や地域によって社会が大きく異なるのは、先人たちが気候風土に合わせて育んできた伝統や文化、美意識が根底にあるからです。6年生は先週の軽井沢移動教室で、自然の素晴らしさと厳しさ、伝統など、東京では学ぶことができないことをたくさん体験するとともに、多くの新たな発見をしてきました。最新の技術や製品による生活の豊かさを追い求めるのと同様、それまでに長い年月の中でできるだけ原型をとどめるように先人たちが努力を重ねてきた伝統や文化を子供たちに大切にさせたいと考えています。